

## 目次

1. 安全に誤使用いただくために.....	2
2. 再生可能メディアについて.....	3
3. 正面と背面パネル.....	4
4. テレビやディスプレイとの接続方法.....	5
5. アンプとの接続方法.....	6
6. 映像と音声出力端子について.....	7
7. 端子について.....	8
8. リモコンについて.....	9
9. システム設定について.....	11
10. メディアファイルについて.....	17
11. ファイルを再生について.....	18
12. 「BD-live」について.....	20
13. 故障と思ったときに.....	21
14. 仕様.....	22

---

この度、株式会社ウェズティングハウス デジタル エレクトロニクス ジャパンのブルーレイ ディスク プレーヤーをお買い求めいただき誠にありがとうございます。本製品を安全に使用するために、本製品の取扱説明書をよくお読みになって、大切に保管してください。

### パッケージ内容のご確認

1. 本体- BDS-110
2. リモコン
3. リモコン用単4乾電池
4. ビデオ-音声ケーブル
5. 取扱説明書
6. 保証書

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店、または弊社のサービス窓口 0210-614-612 までご連絡ください。

## 安全にご使用いただくために

- 1) 本説明書をよくお読みになって、保管してください。
- 2) すべての警告に注意を払う必要があります。
- 3) 説明や指示に従ってください。
- 4) 本製品を水のそばで使用しないでください。
- 5) 清掃のときは、乾いた布で拭いてください。
- 6) 通風口をふさがないように、本説明書内容に従ってインストールしてください。
- 7) ラジエータ、暖房器、ストーブなど、熱を発生させる装置(アンプを含む)のそばにインストールしないでください。
- 8) 有極プラグの目的を無視した使い方をしないでください。もし付属のプラグがコンセントに合わない場合、電気専門の技師に頼んで旧型のコンセントを交換してください。
- 9) 電源コードを踏みつけたりせず、また、プラグ、コンセントに近い部分や本製品への接続部分が過度にゆがまないようにしてください。
- 10) 製造元により指定された付属品/アクセサリ以外は使用できません。
- 11) 落雷時、または長期間使用しない場合、プラグをコンセントから抜いてください。
- 12) 検査修理するときは、指定の修理業者にお任せください。電源コードやプラグが損壊した、本製品が水に触れた、或いは物体が本製品に落下した、雨や湿気にさらされた、故障した、強い衝撃を与えた等、装置がダメージを受けたとき、いかなる場合でも検査修理が必要です。
- 13) プラグを抜いて電源を切るようになっている場合、プラグがいつでも抜ける状態にしておいてください。
- 14) 通風機構の開口部にいかなる物も置かないようにしてください。
- 15) ろうそく、ストーブを本製品の上に置かないでください。
- 16) 電池を処分ときは、地元の環境保護規定に従ってください。
- 17) 極端に過酷な環境でのご使用は控えてください。

警告: 火災や感電の危険性を低下させるため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

警告: バッテリーを直射日光や火炎等の高温にさらさないでください。



このマークは、感電のおそれがあるくらい大きな電圧が当該ユニットに流れていることを指します。







このマークは、当該ユニットには操作上、またはメンテナンス上、知っておくべき重要な説明があることを指します。



このマークは、当該製品はユーザーは触れる可能性のあるパーツが危険な電圧から二重絶縁されていることを指します。修理で取り替える場合は、同様のパーツを使用してください。

## 再生可能メディアについて

本製品は、以下のディスクが再生できます。

Blu-Ray™ディスク		DVD-RW ビデオフォーマット	
DVD ビデオ (DVD-ROM)		DVD-R ビデオフォーマット	
音楽 CD (CDDA)		DTS-CD	
VCD		MP3/WMA/JPEG データ CD	

### 注意:

- ・ BD-ROMを再生できます。BD-ROM Profile1に対応しております。AACs著作権保護されたブルーレイディスクが再生できます。
- ・ 本製品はCPRM対応しておりませんので、地上デジタルなどの録画したディスクは再生できません。DVD±R、DVD±RW、CD-R、CD-RWディスクの記録方式や相性などにより再生できない場合もございます。また、すべてのブルーレイディスクやDVD、ビデオCDに再生語感が保証できませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ DVD-R、DVD-RWディスクはビデオモードで録画した画質を再生するために、ファイナライズが必要です。
- ・ CD-DA、ビデオCD、MP3、WMA、JPEGが記録されたCD-RとCD-RWディスクは再生できます。
- ・ MP3データを再生するために、CD-RとCD-RWディスクでMPEG1 Audio Layer3 44.1Khz、48Khzのデータは「ファイル名.mp3」の拡張子が必要です。
- ・ ディスクの一部、或いはアングル変更やアスペクト比の調節の操作は、変更できない場合もございますので、詳細についてはディスクの説明書を参照してください。

### 地域(リージョン)コードについて

本製品が再生できるブルーレイディスクとDVDディスクは下記の通りです。それ以外のマークは再生できません。



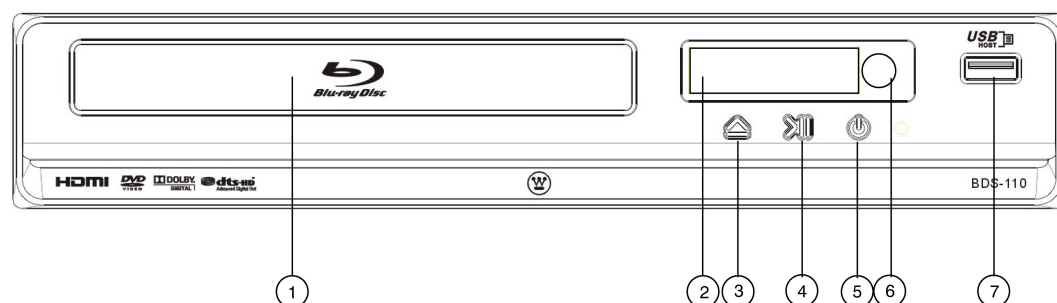
DVD: 2, ALL



ブルーレイディスク: A, ALL

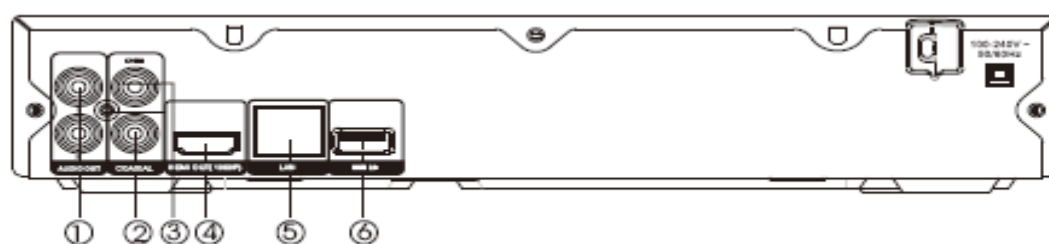
## 正面と裏面パネル

### 本体の正面パネル



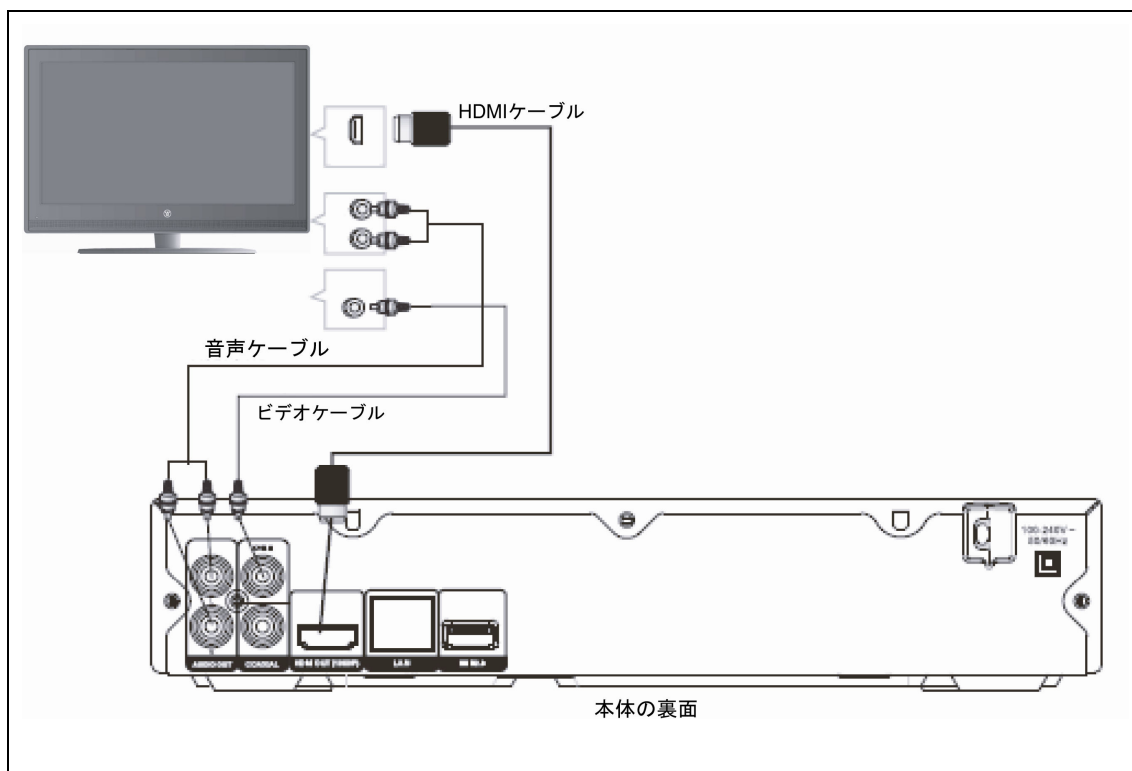
① ディスクトレイ	⑤ 電源ボタン
② LEDディスプレイ	⑥ リモコン受光部
③ 開/閉ボタン	⑦ USB 2.0
④ 再生/一時停止ボタン	

### 本体の裏面パネル



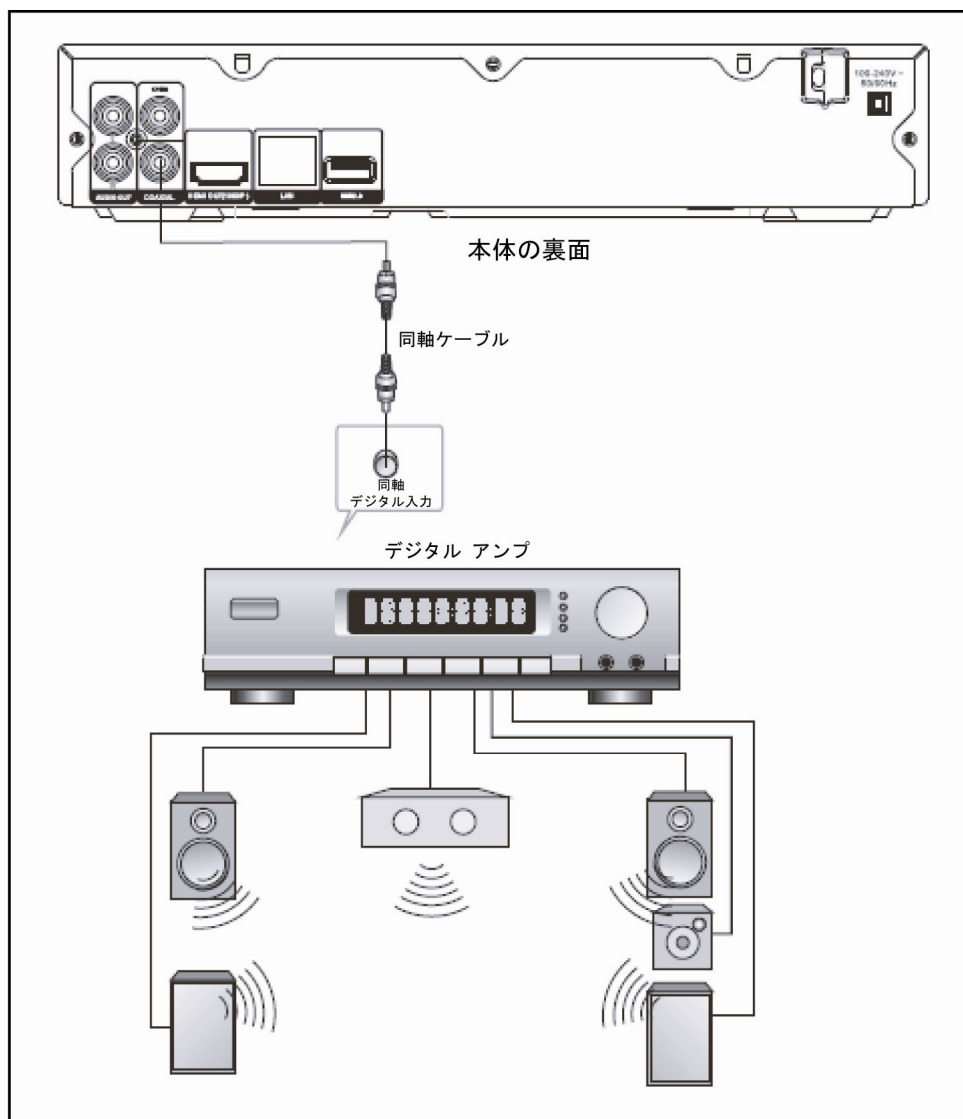
① アナログ音声出力(左/右)	④ HDMI 出力
② 同軸デジタル音声出力	⑤ LAN ポート
③ ビデオ出力	⑥ USB 2.0

## テレビやディスプレイとの接続方法



- **ビデオ-音声ケーブルで接続する場合**  
本製品のビデオ出力とテレビ側のビデオ入力に接続します。  
音声は音声端子の右と左の出力とテレビ側のビデオ用の音声入力に接続します。
- **HDMI ケーブルで接続する場合**  
本製品のHDMI端子とテレビ側のHDMI端子に接続します。

## アンプとの接続方法



- 同軸ケーブルで接続する  
本製品の同軸デジタル音声出力とアンプの同軸デジタル音声入力に接続します。

\*ご確認ください

- 本製品の音声設定を「PCM ステレオ」に設定してください。
- アンプ側の音声の設定する場合があります。

## 映像と音声出力端子について

### 映像出力について

映像出力端子ごとに対応可能な機能レベルが異なります(下表参照)。実際の出力は、メニュー設定とテレビの HDMI 対応状況によります。

映像出力端子	対応解像度
HDMI	1080p (1125p) 60/30/24Hz 1080i (1125i) 720p (750p) 480p (525p) 480i (525i)
ビデオ端子	480i (525i)

### 音声出力について

音声出力端子ごとに対応可能な機能レベルが異なります(下表参照)。実際の出力は以下の状況によります。

- ・ 本製品本製品のメニュー設定
- ・ ディスクにエンコードされている音声トラックのタイプ
- ・ サラウンドサウンドレシーバーの対応性(HDMI または SPDIP 経由で本製品に接続されたサラウンドサウンドシステム)

音声出力	出力側に直接送信される音声トラック
HDMI	Dolby True HD Dolby Digital Plus DTS-HD High-Resolution Audio Dolby Digital DTS PCM(モノから 7.1CH まで、@96kHz)
同軸デジタル音声	Dolby Digital 2ch DTS PCM(ステレオのみ、96kHz まで)

## 端子について

- 同軸デジタル音声出力

SPDIF 出力は同軸デジタル音声出力端子のことです。SPDIF(同軸)入力付きサラウンドサウンドレシーバーがあれば、この出力端子をサラウンドサウンドレシーバーの同軸入力ポートに接続します。

- アナログ音声出力

アナログ式ステレオ(右/左)出力端子。接続したいテレビにHDMI入力ポートがなければ、この出力端子をテレビのステレオ音声入力ポートに接続します。

- ビデオ出力

接続したいテレビにコンポーネントまたはHDMI入力ポートがなければ、この出力端子をテレビのコンポジットビデオ入力ポートに接続します。

- HDMI v1.3

HDMI入力ポートのあるサラウンドシステムを使用する場合、本製品のHDMI出力端子をサラウンドシステムのHDMI入力ポートに接続します。(別途・HDMIケーブルが必要となります)

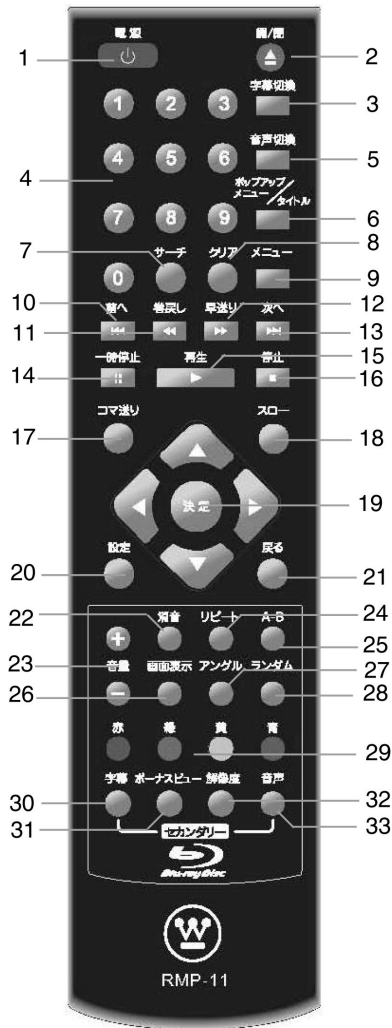
- LANポート

「BD-Live」専用端子です。LANケーブルをこの端子に接続すると、「BD-Live」(ディスクによる)へのアクセスができます。

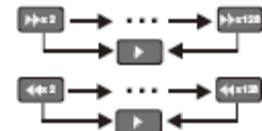
- USB2.0

USBメモリー内に保存された音声/ビデオファイル、或いは「BD-Live」用にUSBメモリーにダウンロードされたコンテンツを再生します。




## リモコンについて



1. 電源オン/オフ
2. ディスクトレイ開/閉
3. 字幕 — BD/DVD 再生中に、字幕を表示させます。
4. 数字ボタン — サーチボタンとの併用により、お望みのタイトル/チャプター、または時間にジャンプさせることができます。(ディスクによります)
5. 音声切換 — ディスクに記録されたサウンドトラックを変更します。(ディスクによります)
6. ポップアップメニュー/タイトル — ブルーレイ専用。映画のトップメニューを表示します。
7. サーチ — 数字ボタンとの併用により、お望みのトラックやチャプターにジャンプさせることができます。
8. クリア — 数字ボタンで押した数字を消すことができます。
9. メニュー — 再生しているディスクを一時停止し、ディスクのトップメニューが表示されます。トップメニューに字幕言語、音声設定、特定シーンなどを選択することができます。(ディスクによります)
10. 前へ — ひとつ前のタイトル、チャプター、トラック、ファイルに戻ります。
11. 巻戻し — 再生中にコンテンツを戻します。
12. 早送り — 再生中、コンテンツを早送りします。
13. 次へ — 次のタイトル、チャプター、トラック、ファイルに跳びます。
14. 一時停止 — ビデオや音楽の再生が一時停止されます。
15. 再生 — ディスクの再生をスタート。
16. 停止 — ビデオや音楽の再生を停止します。
17. コマ送り — コマ送りで再生されます。
18. スロー再生 — ビデオ再生が 1/2、1/4、1/8 の減速スピードで再生できます。
19. メニュー選択/決定 — メニューの項目を選択します。
20. 設定 — 本体の設定メニューを表示されます。ディスクが再生中のとき、このボタンは無効となります。
21. 戻る — 前の画面に戻ります。
22. 消音 — 音を一時的に消します。
23. 音量 — 本体からの音量を調節することができます。



24. リpeat - 再生中のコンテンツを繰り返します。

 タイトルリpeat  トラックリpeat  リpeat解除

CDDA、音声ファイルディスクの場合

 ファイルリpeat  リpeat解除  全部リpeat

(ディスクによります)

25. A-B - ディスクの一部を繰り返した場合は、まず、最初にこのボタンを押して“リpeat開始点”を選択し、このボタンを二度押すと、そこが“リpeat終点”となり、“開始点”から“終点”まで、繰り返します。(ディスクによります)

26. 画面表示 - 再生中に現在のステータスと時間が表示されます。

27. アングル - 一部のブルーレイやDVDに、複数のカメラアングルで撮影されたフィルムのアングルを切り替えることができます。



(ディスクによります)

28. ランダム - 音楽ファイルをランダムで再生します。(ディスクによります)

29. カラーボタン(赤・緑・黄・青) - 一部のブルーレイソフトに特有の機能を発揮させるときに使います。(ディスクによります)

30. 字幕(セカンダリー)

ブルーレイディスクのタイトルにピクチャー・イン・ピクチャー(映画監督のコメントなど)の字幕選択があれば、このボタンで表示されます。映画監督のコメントに複数言語の字幕がある場合は、ここを押して字幕の言語を選択することができます。(ディスクによります)

31. ボーナスビュー - ブルーレイでディスクの場合に、映画監督のコメント、ピクチャー・イン・ピクチャーをオン/オフにします。(ディスクによります)

注意: ブルーレイディスクのトップメニューでピクチャー・イン・ピクチャーをオンにしておく必要があります。

32. 解像度 - 停止状態でこのボタンを押すと、解像度を変更することができます。

33. 音声(セカンダリー) - ブルーレイディスクでピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用する場合に、複数の言語から選択することができます。(ディスクによります)

## システム設定について

停止状態で設定ボタンを押す、或いはトップメニューで右キーを押すと、システムが下のよ  
うな設定メニューを表示します。

トップメニュー

設定メニュー



### 「言語」について

- 画面表示:表示される言語を設定します。
- メニュー:ブルーレイや DVD メニューの表示言語を設定します。
- (ディスクによります)
- 音声:ブルーレイや DVD 音声の言語を選択。(ディスクによります)
- 字幕:ブルーレイや DVD 字幕の言語を選択。(ディスクによります)

### 「映像設定」について

- テレビ:ビデオ出力フォーマットを NTSC、PAL から選択。
- 解像度:最良の画質を得るため、接続するテレビの最大解像度を選択設定してください。これが不明のとき、「HDMI Auto」を使用してください。EDID 経由でテレビがサポートしている最適の解像度をシステムが読み取ります。
- アスペクト比:接続するテレビに最適のアスペクト比を選択してください(次のページ表参照)。

注意:アスペクト比が設定できるのは、HDMI 出力のみです。解像度が 720p、1080i、または 1080p に設定されていると、4:3 に設定しても効果はありません。

アスペクト比設定メニュー選択					
		テレビ画面が長方形(16:9)に近い場合		テレビ画面が正方形(4:3)に近い場合	
		16:9 フル	16:9 ピラーボックス	4:3 レターボックス	4:3 パンスキャン
コンテンツ					
ワイドスクリーン フォーマットの映画	フルスクリーン 表示	無効- フルスクリーン 表示	横長にスクリーン 表示(上/下に横 の黒帯が付く)	中央部のみ表示され、 左右両端はカットされる	
ワイドスクリーン フォーマットの ハイビジョンテレビド ラマ	フルスクリーン 表示	無効- フルスクリーン 表示	横長にスクリーン 表示(上/下に横 の黒帯が付く)	中央部のみ表示され、 左右両端はカットされる	
SD(4:3) テレビドラマ	フルスクリーン表示 のため、水平方向に 引き延ばされる	左右に縦の黒帯 が付いた、 スクリーン中央 表示	無効- フルスクリーン 表示	無効- フルスクリーン表示	
トリミングした映画 (アスペクト比 4:3 の ディスクに記録した 映画)	フルスクリーン表示 のため、水平方向に 引き延ばされる	左右に縦の黒帯 が付いた、 スクリーン中央 表示	無効- フルスクリーン 表示	無効- フルスクリーン表示	

注意:4:3 パンスキャンと4:3レターボックスは、SDモード(解像度:480pまたは480i)においてのみ有効です。

- フィルムモード:このアイテムがオンに設定され、ビデオが1秒24コマフィルムに記録されていると、システムは「1080p 24Hz」出力となります。

注意:フィルムモードは解像度1080pに設定されている場合のみ有効です。接続するテレビが「1080p 24Hz」モードをサポートしていることを確認してください。

- 色空間:ビデオ出力がHDMIの場合、色空間設定ができます。接続するテレビの色空間がわかれば、適切な設定が可能です。 「xvYCC」を選択すると、本製品が最適の色空間を選択します。テレビのEDID情報が間違っていた等、特殊なケースでは、色空間を「RGD」に変更してください。

## 「音声」について

- PCM ダウンサンプリング:適切な PCM ビットレートを選択して SPDIF レシーバーが受入可能であることを確認してください。HDMI デジタル音声出力に影響を与えることはありません。
- コアクセル出力  
スピーカーが二台の場合、PCM ステレオに設定。  
レシーバー経由で三台以上のスピーカーを接続するときは、下表を参照してください。

	レシーバーの対応性		
	DTS デコード機能搭載	Dolby Digital デコード機能搭載	Dolby Digital Plus デコード機能搭載
サウンドトラックにできるだけ忠実に再現。	DTS サウンドトラック付きビデオ向けに「Bitstream Lagacy」に設定。	Dolby Digital サウンドトラック付きビデオ向けに「Bitstream Lagacy」に設定。  Dolby サウンドトラックのないビデオは、PCM 5.1 または PCM 7.1 に設定(レシーバーに接続されるスピーカーの個数による)。	Dolby Digital Plus サウンドトラック付きビデオ向けに「Bitstream Lagacy」に設定。  Dolby Digital Plus サウンドトラックのないビデオは、PCM 5.1 または PCM 7.1 に設定(レシーバーに接続されるスピーカーの個数による)。
BD ビデオのピクチャー・イン・ピクチャーを視聴する、 或いは、 一度メニューを設定後、そのまま変更しない。	出力を「Bitstream Mixed」に設定。	レシーバーが DTS をサポートしていれば、「Bitstream Mixed」に設定。  レシーバーが DTS をサポートしていなければ、PCM 5.1 または PCM 7.1 に設定(レシーバーに接続されるスピーカーの個数による)。	

- ダイナミックレンジ制御:本製品は、俳優の台詞音量を変えずに、音声トラックの音量を劇場よりも抑制して再生することが可能です。(アナログ音声出力でもこの機能が使えますが、デジタル音声出力の場合は、PCM はもしくは「Bitstream Mixed」に設定されている必要があります。)

## 「その他」について

- **ビデオ自動再生:** ディスクトレイがクローズされると同時にタイトルコンテンツの再生を自動的にスタートさせたい場合、ここで設定を行います。
- **「BD-Live」インターネット接続:** 本製品のインターネットへの接続をコントロールします。  
**制限付きアクセス:** ブルーレイディスクへのダウンロードを、「有効」のオンライン証書付き「BD-Live」サイトからのダウンロードのみに限定します。悪意のあるコンテンツがダウンロードされる確率を減少させるのが、その目的です。  
**常時アクセス:** サイトアドレスがディスクにエンコードされていれば、「BD-Live」の全サイトにおけるコンテンツへのアクセスが可能となります。市販の BD ビデオから悪意あるコードがダウンロードされる心配はありませんが、このオプションを選択すると、「BD-Live」から著作権侵害に当たる BD ビデオをダウンロードしたり、不審なソースからダウンロードし、結果的に悪意あるコードをプレーヤーにダウンロードしてしまう可能性があります。  
**アクセス禁止:** 「BD-Live」インターネットへの接続を遮断します。
- **「BD-Live」ストレージ**  
「BD-Live」ストレージ関連情報が表示されます。ブルーレイストレージを消去したいときは、ストレージデバイスを選択してください。
- **スクリーンセーバー**  
システムが音楽 CD の再生中、或いは停止/完全停止モードに入った後、ここで設定された猶予時間が経過すると、ビデオ出力が“非表示”に変わる(モニターに何も表示されない)スクリーンセーバーモードに入ります。
- **ブルーレイストレージの消去:** ブルーレイストレージをクリア消去します。
- **CEC サポート**  
ここで CEC 機能への対応/非対応を設定します。  
CEC 機能を設定すると、ユーザーの手を煩わすことなく CEC 対応デバイスが相互にコマンド、制御し合います。たとえば、接続したテレビが CEC 対応だとすると、テレビのスイッチを切ると、本製品が CEC 信号を受信して自動的にスイッチオフされます。もしくは、本製品の電源を入れたとき、テレビも自動的にスイッチオンされ、HDMI 入力に切り替わります。  
**注意:** すべての CEC 対応デバイスに本製品との互換性があるとは限りません。
- **リセット**  
デフォルト値のリセットを行うページです(視聴制限の設定はリセットできません)。

## 「ネットワーク」について

このアイテムを選択して、決定ボタンを押し、“接続”を選択すると、ネットワーク設定ができます。

- 接続ステータス  
イーサネットケーブルが本製品に接続されていることが表示されます。
- MAC アドレス  
本製品の MAC アドレスが表示されます。
- IP モード  
インターネットに接続するため、本アイテム(IP モード)を選択します。  
“マニュアル”モードを選択すると、ユーザー入力で入力となり、それ以外は使用できません。
- IP アドレス  
現行の IP アドレスが表示されるか、もしくは“マニュアル”モードでユーザー入力となります。
- サブネットマスク  
現行のサブネットマスクが表示されるか、もしくは“マニュアル”モードでユーザー入力となります。
- ゲートウェイ  
現行のゲートウェイが表示されるか、もしくは“マニュアル”モードでユーザー入力となります。
- プライマリ DNS  
現行のプライマリ DNS が表示されるか、もしくは“マニュアル”モードでユーザー入力となります。
- 第二 DNS  
現行の第二 DNS が表示されるか、もしくは“マニュアル”モードでユーザー入力となります。

実行を選択し、決定ボタンを押します。ユーザー入力設定を有効化します。或いは、キャンセルを選択し、決定ボタンを押すと、ユーザー入力で行ったネットワーク設定の変更をキャンセルできます。

## 「情報」について

このアイテムでは、ローダーやマザーボードといったハードウェア、ソフトウェア関連の情報が表示されます。変更は一切できません。

- 視聴制限

国別 — 本製品を使用する国名を本製品に登録します。(今のところ、このメニューアイテムは無効です。)

- 視聴制限コントロール

視聴制限のオン/オフ制御のページです。

- 視聴制限レベル

設定された評定水準を超えているディスクの再生を制限します。このアイテムを有効に機能させるため、「視聴制限コントロール」がオンになっていることを確認してください。

### 視聴制限パスワード

視聴制限コントロールを使用するため、新しいパスワードを登録してください。

(デフォルト番号:6666)

### ディスクまたは USB デバイスの音声、ビデオ、静止画像ファイルについて

- はじめに — 本章は、ディスクや外付け USB メモリーに記録された PC 向けの音声、ビデオ、静止画像ファイルの再生方法を説明します。
- 再生可能な音声、ビデオ、静止画像ファイル

### ビデオ — .MPEG4 (.mp4), .m4v, .mkv ファイル

注意:外付けの字幕ファイルは、その名称がビデオファイル名称と同じ名称ではじまり、且つ UTF8 または UTF16 でエンコードされていること。(例:ビデオファイルが「file001.mkv.」のとき、字幕ファイルは「file001\_01.srt」、「file001\_eng.srt」、または「file001\_ger.subetc」であること)

### 音声 .mp3, .wma ファイル

### 静止画像 .jpeg, .png ファイル

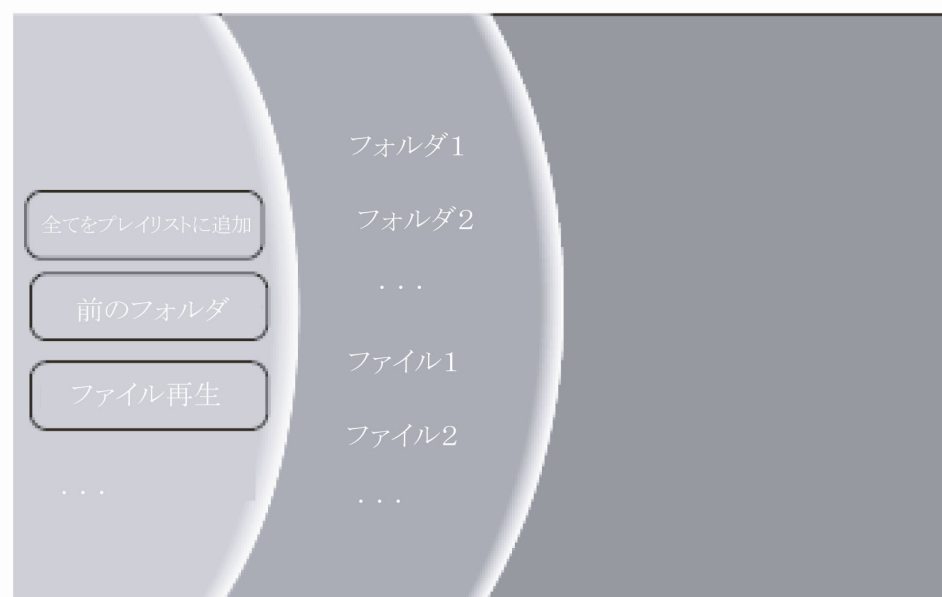
- ディスクまたは USB デバイスの準備
- 本製品においては、UDF または ISO9660 フォーマット(ファイナライズされていること)で記録された CD-R, CD-RW, DVD+/-R, DVD+/-RW, BD-R, BD-RE のみ再生可能です。
- USB デバイスについては、FAT/FAT32 パーティションで記録されたファイルが認識可能です。

## メディアファイルについて

本製品がディスクまたは(および)USB デバイスを読み取ると、下のような  
トップメニューが表示されます。ここで「ビデオ」「音楽」や「ピクチャー」を選択し、  
決定ボタンを押すと、ファイルソースを選択するためのサブメニューが表示されます。

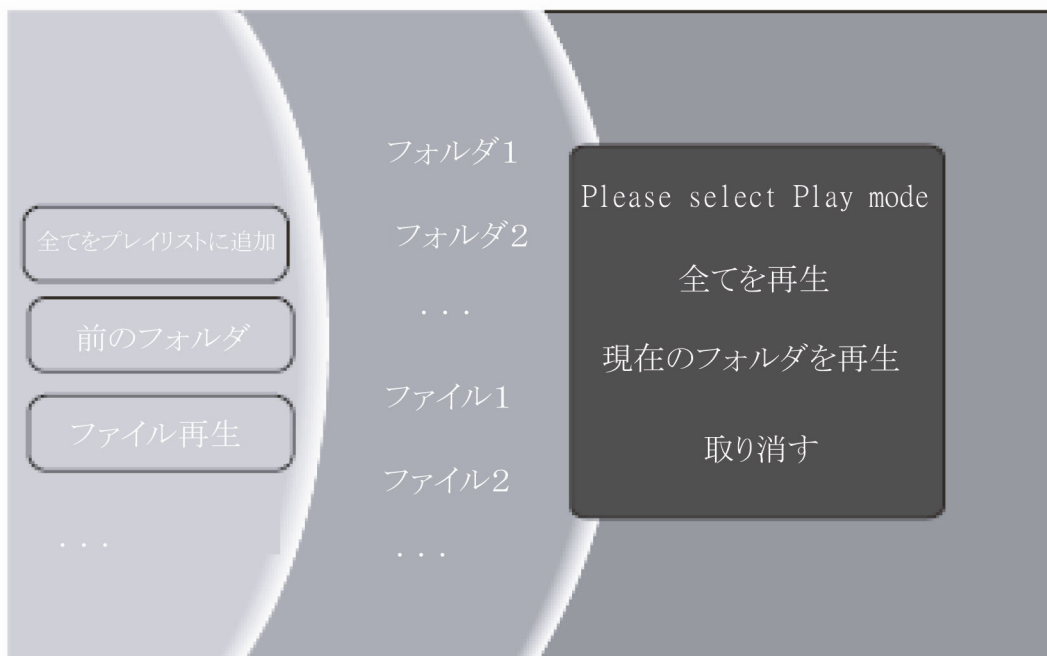


ディスクまたは USB を選択すると、ディスクまたは USB デバイスのファイルを見て回ることが  
できるブラウザが開きますので、再生したいファイルを選択してください。

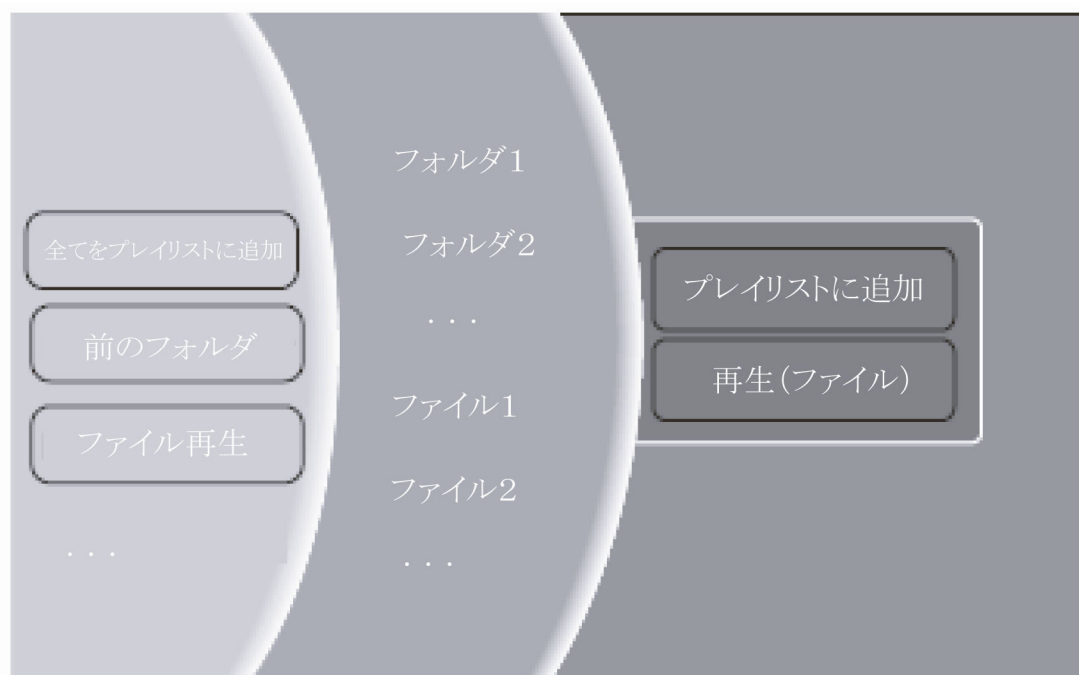


## ファイルを再生について

「全てを再生」を選択すると、選択したメディアの中から選んだファイル全部が再生され、「現在のフォルダを再生」を選択すると、選択したフォルダの中から選んだファイル全部が再生されます。



選択したファイルのみを再生することもできます。



## プレイリストの作成と再生について

- 「全部プレイリストに追加」を選択し、決定ボタンを押すと、選択したフォルダ内で選んだファイルが全部プレイリストに追加されます。  
もしくは「全部プレイリストに追加」を選択し、決定ボタンを押すと、選択したファイルがプレイリストに追加されます。
- 表示メディア選択メニューの中で、「プレイリスト」を選択することにより、プレイリストの中のファイルを再生することができます。

## 「BD-live」について

- 説明

一部のブルーレイディスクには、インターネット接続やメモリー増設という追加機能が付加されています(一部にはこれができないものもあります)。この追加機能には以下のような特長があります。

- 新しい映画予告がダウンロードできる
- 俳優や映画監督の追加“コメント”が再生できる
- 多人数参加型ゲームやチャットが楽しめる
- 「BD-live」機能にアクセスするため、プレーヤーには「BD-live」インターネットアクセスが正しく設定され、メモリーが増設されていなければなりません。
- 「BD-live」用外付けメモリーをプレーヤーに増設
- FAT32 フォーマットの USB メモリーを用意します。
- 外付け USB メモリーをプレーヤーの USB スロットに挿入します。
- 「BD-live」インターネットアクセスモード設定
- 本製品の設定メニューで「その他」を選択し、「BD-live Internet Access」を選択します。「Limit Access(制限付きアクセス)」または「Always Allow Access(随時アクセス)」にチェックマークが入っていることを確認してください。
- 挿入された USB メモリーの空きスペースが 100MB 未満の場合、設定メニューの「Other(その他)」で「Clear BD Storage(BD ストレージをクリアする)」を選択してください。
- 本製品の設定メニューから「ネットワーク」メニューに入り、「IP モード」を選択します。ルーターまたは ISP に割り当てられたネットワーク IP アドレスを設定してください。

注意:「Connectivity Test(疎通テスト)」に合格していなければ、インターネットに接続することができず、ウェブサイトで「BD-live」コンテンツにアクセスすることもできません。

## 故障と思ったときに

不具合が発生したときは、以下のトラブルシューティングを参照してください。

電源が入らない	リモコン故障
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源がオンになるか確認。</li> <li>・コンセントが正常であることを確認。</li> <li>・電源コードに異常なきことを確認。</li> <li>・プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレーヤー本体の電源がオンになっていることを確認。</li> <li>・電池の残容量が十分であることを確認。</li> <li>・リモコンをプレーヤーの赤外線センサーに直接向けて、キーを押してください。</li> <li>・リモコンと赤外線センサーの間にある障害物を取り除いてください。</li> </ul>
画像は映るが、音が出ない	プレーヤー本体が動作しない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声ジャックがしっかりと差し込まれていることを確認。</li> <li>・音声コネクタに異常なきことを確認。</li> <li>・プレーヤーの「音声」設定が正しく行われていることを確認。</li> <li>・テレビに音声入力が正しく入力されていることを確認。</li> <li>・音声がミュートに設定されていないことを確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一旦コンセントを抜き、5分ほど放電してから、再び電源オンにしてみてください。</li> </ul>
音声は出るが、画像が映らない	「ディスクがありません」が表示される
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオジャックがしっかりと差し込まれていることを確認。</li> <li>・テレビに映像端子が正しく入力されていることを確認。</li> <li>・ビデオ端子に異常なきことを確認。</li> <li>・プレーヤーの「映像設定」が正しく行われていることを確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクがトレイに正しく挿入されていることを確認。</li> <li>・ディスクが上下逆に挿入されていないか、確認。</li> <li>・ディスクに歪み、しみ、引っかきキズ等がないことを確認。</li> </ul>
画質、音質が劣る	ディスクがイジェクトされてしまう場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレーヤーの「音声」設定が正しく行われていることを確認。</li> <li>・ディスクにしみ、引っかきキズ等がないことを確認。</li> <li>・入力端子、または出力端子に異常なきことを確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能なフォーマット以外はイジェクトされます。本説明書(3ページ)をご覧ください。</li> </ul>

## 仕様

型番		BDS-110
	商品別	ブルーレイ ディスク プレーヤー
	対応メディア	BD, DVD, DVD±R, DVD±RW, CD, CD-R, CD-RW, USB メモリー
	対応フォーマット	MPEG4, MP3, JPEG
出力 映像	HDMI(v1.3)	480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p
	ビデオ出力	480i
	USB2.0	x2
	LAN ポート	●
出力 音声	ステレオ音声出力	●
	同軸デジタル音声出力	●
機能	HDMI 音声	Dolby True HD, Dolby Digital Plus, DTS-HD, Dolby Digital, DTS PCM
	同軸音声	Dolby Digital, DTS PCM
	BD-Live™	2.0
	Bonus View	●
	DVDアップスケール	720p, 1080i, 1080p
	外型寸法(幅X高さX奥行):mm	260*48*240
	質量:kg	2.5
	低格消費電力[待機時]:W	35W[約 0.5W以下]
	付属品	ビデオ+音声ケーブル、リモコン、電池x2、取扱説明書、保証書

仕様は予告なく変更される場合があります。

本製品は、特許ならびに知的財産権というかたちで米国政府によって保護されている著作権保護技術が含まれています。この著作権保護技術を使用するにはロヴィ・コーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィ・コーポレーションによる許諾がない限り、家庭での観賞用に限られます。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

本製品はドルビー・ラボラトリーズのライセンスのもとに生産されています。Dolby、ドルビー、ダブル D 記号はドルビー・ラボラトリーズの商標です。著作権 1992-1997 年、ドルビー・ラボラトリーズ。無断複製を禁ず。

本製品は、FCC Part 15 の規定内容に準拠しており、次に掲げる二項目の条件に従って運用することが求められます。(1)他者に有害となる妨害を発生させない。(2)予想外の動作を引き起こす可能性がある場合も含めて、すべての受信妨害を受け入れる。

本製品は、「米国特許 # s : 5, 451, 942 ; 5, 956, 674, 5, 974, 380 ; 5, 978, 762 ; 6, 487, 535」、および米国およびその他の国において特許取得または申請中のライセンスのもとに生産されています。DTS は DTS インコーポレーションの登録商標です。DTS ロゴ、シンボル、DTS-HD、DTS-HD Advanced Digital Out は、DTS インコーポレーションの商標です。著作権 1996-2008 年、DTS インコーポレーション。無断複製を禁ず

